



2020年6月24日

各 位

会 社 名 株式会社 富士通ゼネラル
 代表者名 代表取締役社長 齋藤 悦郎
 (コード：6755 東証第1部)
 問合せ先 広報IR室長 加納 俊男
 TEL (044) 861-7627

業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年4月24日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期連結業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 2021年3月期第2四半期連結累計期間業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	115,000	3,000	3,000	2,000	19.12
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期累計期間実績 (2020年3月期第2四半期累計期間)	132,914	6,238	5,947	3,722	35.58

(2) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	265,000	16,000	16,000	11,000	105.14
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	262,117	14,941	13,683	5,765	55.11

(3) 公表の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

売上高につきましては、空調機において、前年度第4四半期から新型コロナウイルス感染拡大による海外での需要減少や販売活動の制約が続く上半期は減収となりますが、下半期は各地域で経済活動の再開が進むと想定し、需要回復を見込むとともに、直販体制に移行したインド向けや、例年より早い需要の立ち上がりが見られる国内向けの販売増により、通期では増収となる見込みです。なお、空調機の生産拠点である中国・タイ各工場の稼働については、本年4月以降ほぼ正常化しております。

情報通信・電子デバイスにおいては、外食市場の冷え込みを受けた顧客企業の投資抑制や自動車生産の低迷が下半期も続くと思われることから、民需システムや車載用カメラ等の販売は減少するものの、主力の公共システムは堅調に推移する見込みです。

損益につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による空調機の販売減少の影響により上半期は減益となりますが、下半期は需要回復に加え、素材調達環境の好転を含む全社的なコストダウンの進展により増益に転じ、通期では各利益とも増益となる見通しです。

また、新型コロナウイルス感染拡大等による影響額は売上高を500億円、営業利益を75億円押し下げると想定しております。

なお、実際の業績は、国内外の景気動向や天候などに加え、新型コロナウイルスの感染拡大・収束の状況や時期およびこれに伴う今後の生活様式や消費動向の変化など様々な要因により大きく変動する可能性があります。

2. 配当予想

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末 (円 銭)	期末 (円 銭)	合計 (円 銭)
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	15.00	15.00	30.00
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	14.00	14.00	28.00

(2) 公表の理由

2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想と同様に未定としておりましたが、上記のとおり増収増益と見込んでいることから、当社の利益配分の基本方針である「安定的かつ継続的な利益還元」に基づき、中間配当予想および期末配当予想をそれぞれ1株につき15円といたします。なお、年間配当は、前期に比べ1株につき2円増配の30円となります。

以上